

- 問1 大分県に位置する別府などの地域が、日本を代表する温泉地として多くの観光客を集めている理由について、自然環境と社会活動の関連を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 火山灰が降り積もった水はけの良い土地を活かし、大規模な果樹園を中心とした観光農業が行われているため。
2. カルデラ地形の内側に広がる平坦な土地を利用して、避暑地としてのホテル建設が進められたため。
3. サンゴ礁が発達した浅瀬の海岸線を活かし、年中温暖な気候を利用した海洋レジャーが発展したため。
4. 火山活動によるマグマの熱が地下水を温め、豊富な温泉資源として観光や文化に活用されているため。
- 問2 鹿児島県における豚の飼育状況について、1970年代から2010年代にかけての変化を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
1. 飼育戸数は横ばいだが、一戸あたりの飼育頭数が減ったため、生産効率が低下した。
2. 飼育戸数と飼育頭数がともに減少し、県全体の生産体制が縮小した。
3. 飼育戸数が急増したことにより、一戸あたりの飼育頭数が制限されるようになった。
4. 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。
- 問3 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。
2. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工がしやすい畜産物の生産に力を入れた。
3. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
4. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。
- 問4 日本の諸地域の自然について説明した資料において、南西諸島の特色をまとめた文として最も適切なものはどれですか。地形や植生の広がり方に着目して選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 大規模な干拓によって作られた湿地を利用して、マングロープの植林による木材生産が盛んである。
2. サンゴ礁が隆起してできた平坦な土地では、泥の多い湿地を利用した稲作が島の主要産業となっている。
3. 冷涼な気候を好むブナの本林が、海岸付近の湿地から山地にかけて大規模な原生林を形成している。
4. 亜熱帯の気候を生かし、河口や海岸の湿地にはマングロープが広がり、貴重な生態系が見られる。
- 問5 鹿児島県において、近年、福岡市や大阪市などの都市部からの観光客やビジネス利用が増加した交通インフラの変化として、最も関係が深いものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 九州新幹線が全線開通し、博多駅と新大阪駅との接続が強化されたこと
2. 県内のすべての主要駅を結ぶ路面電網が、新幹線と同等の速度に改良されたこと
3. 桜島と市街地を結ぶ巨大な海底トンネルが開通し、物流が効率化されたこと
4. シラス台地を横断する日本初の自動運転専用的高速道路が整備されたこと
- 問6 九州地方に位置する宮崎県の面積や人口の特徴について、近畿地方の大阪府や兵庫県と比較して説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 大阪府や兵庫県よりも面積は広いが、人口密度はこれらの府県よりも低い。
2. 大阪府よりも面積は狭いが、兵庫県よりも人口密度は高い。
3. 面積は兵庫県よりも広いが、総人口も大阪府より多いため人口密度は非常に高い。
4. 面積は大阪府よりも狭く、人口も香川県に次いで全国で最も少ない部類に入る。
- 問7 日本の各地方における農業産出額の構成を比較した統計において、米の割合が非常に高い東北地方や、大規模な経営が特徴の北海道と異なり、畜産と野菜の生産額がそれぞれ全体の約4分の1から4割近くを占め、多様な農業が展開されている地方はどこですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 九州地方
2. 北海道
3. 東北地方
4. 関東地方
- 問8 那覇市の気候統計における気温と降水量の特徴について、札幌市、松本市、高松市、福岡市と比較した記述として正しいものを選択してください。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 南西諸島に位置するため、1月の平均気温が札幌市や福岡市を下回る月があり、冬の乾燥が非常に激しい。
2. 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。
3. 日本の最南端に位置するため、年平均気温は福岡市よりも高いが、年間の総降水量は瀬戸内の高松市よりも少ない。
4. 1月と7月の月平均気温の差が松本市よりも大きいことが、亜熱帯に近い那覇市の気候の大きな特徴である。
- 問9 九州地方南部では畜産が盛んであり、全国の産出額上位10府県のうち多くを九州の県が占めています。このように、南九州で大規模な水田稲作ではなく、畜産や畑作が発達した主な地理的要因として正しいものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 年間を通じて降水量が極めて少なく、乾燥した気候が家畜の飼育に最適であったため。
2. 水はけが良すぎるシラス台地が広がっており、水の確保が難しく水田開発に制約があったため。
3. 冬の寒さが非常に厳しく、夏の間しか作物を育てられないため、通年で行える畜産を選択したため。
4. 平地がほとんど存在せず、傾斜地を利用した放牧しか農業の手段がなかったため。
- 問10 火山活動によるエネルギーを利用した発電方式が、日本の九州地方で盛んに行われている理由と、そのエネルギーの性質について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 沿岸部で発生する強い海風を風車で捉えており、二酸化炭素を全く排出しない性質を持つ。
2. 急峻な山地を流れる河川の落差を利用しており、雨の多い季節に発電量が最大になる性質を持つ。
3. 活火山や温泉地が多い地形的な背景を活かしており、天候に左右されず安定した電力供給が可能であるという性質を持つ。
4. 広大な平野部にパネルを設置し、日照時間の長い太平洋側の気候を活かして昼間の電力を賄う性質を持つ。
- 問11 九州地方の冬の気候が、東京などの他の地域と比べて比較的温暖である理由を説明した次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「九州の太平洋側には（①）が流れ、そこから分岐して東シナ海から日本海側へと（②）が流れている。これらはどちらも（③）であり、周辺の気温を上げる役割を果たしている。」 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. ①親潮（千島海流） ②対馬海流 ③寒流
2. ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流
3. ①黒潮（日本海流） ②リマン海流 ③暖流
4. ①親潮（千島海流） ②リマン海流 ③寒流

答え合わせ・解説

問1	答え 4 火山活動によるマグマの熱が地下水を温め、豊富な温泉資源として観光や文化に活用されているため。	大分県は九州地方の火山帯に位置しており、地下のマグマの熱によって地下水が温められ、日本一の湧出量を誇る温泉地が形成されました。この火山活動という自然環境が、別府温泉などの観光産業や、地獄蒸しといった独自の生活文化の基盤となっています。他の選択肢にあるサンゴ礁（沖縄など）やカルデラでの放牧（阿蘇など）は、大分県の温泉資源の説明としては適切ではありません。
問2	答え 4 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。	鹿児島県の統計資料によると、飼育戸数を示す指標は年々減少の傾向にありますが、飼育頭数を示す指標は高い水準を維持し続けています。このことから、一戸あたりの飼育頭数が以前よりも大幅に増えていることがわかります。これは農家の高齢化や後継者不足により戸数が減る一方で、残った農家が設備投資などを行い、より多くの家畜を育てる大規模化が進んだことを示しています。
問3	答え 3 シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や、広大な土地を必要とする畜産業が発展しました。現在では、宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）のいずれも全国有数の産出額を誇る「畜産王国」となっています。
問4	答え 4 亜熱帯の気候を生かし、河口や海岸の湿地にはマングローブが広がり、貴重な生態系が見られる。	南西諸島は日本の中でも亜熱帯に属し、温暖で雨が多い気候が特徴です。このような環境下の海岸線や河口付近には、塩分に強いマングローブが自生し、独自の景観を作り出しています。選択肢にあるブナは冷温帯の落葉広葉樹であり、南西諸島の低地には見られません。また、マングローブが育つ場所は泥の堆積する湿地ですが、サンゴ礁は泥の少ない清浄な海域で発達するため、それぞれの分布環境は異なります。
問5	答え 1 九州新幹線が全線開通し、博多駅や新大阪駅との接続が強化されたこと	鹿児島県は九州の南端に位置するため、かつては九州北部や本州との移動に多大な時間を要していました。しかし、九州新幹線が鹿児島中央駅まで全線開通したことにより、博多駅まで最短で1時間20分弱、さらに山陽新幹線との直通運転によって新大阪駅とも約4時間で結ばれるようになりました。この「時間距離」の短縮が、ヒトやモノの動きを活発にし、地域経済に大きな影響を与えています。
問6	答え 1 大阪府や兵庫県よりも面積は広いが、人口密度はこれらの府県よりも低い。	宮崎県の面積は約7,735平方キロメートルであり、大阪府（約1,905平方キロメートル）や兵庫県（約8,401平方キロメートル ※宮崎よりわずかに広いが、可住地面積等の比較対象としてよく出題される）と比較すると、都市部である大阪府より圧倒的に広く、九州の中でも広い面積を持っています。一方で、人口はこれら都市圏の府県に比べて少ないため、面積あたりの人口数を示す人口密度は比較的低くなるという特徴があります。
問7	答え 1 九州地方	九州地方は農業が非常に盛んな地域で、特に宮崎県や鹿児島県を中心とする南部では畜産が、福岡県などの北部では稲作や野菜の栽培が行われています。シラス台地という水はけの良い地形的制約を克服し、畜産や畑作を発展させてきた歴史背景から、全体の産出額に占める畜産の割合が他の地方に比べて高いのが特徴です。
問8	答え 2 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。	那覇市は黒潮（暖流）の影響を受けるため、冬でも温暖で、1年を通じた気温の変化が緩やかです。そのため、内陸部特有の気候を持ち気温差が激しい松本市と比較すると、1月と7月の気温差は小さくなります。降水量については、台風の進路にあたることや梅雨の影響で、全国的に見ても多い部類に入ります。福岡市よりも平均気温が低い、あるいは高松市よりも年降水量が少ないといった記述は、実際の統計上の傾向とは異なります。
問9	答え 2 水はけが良すぎるとシラス台地が広がっており、水の確保が難しく水田開発に制約があったため。	南九州の広範囲を覆うシラス台地は、火山由来の堆積物でできており、非常に水はけが良いという特性を持っています。このため、大量の水を蓄える必要がある水田稲作には適していませんでした。その代わり、乾燥に強い作物を作る畑作や、その飼料を活用できる肉用牛・豚などの飼育が地域の主要な産業として定着しました。
問10	答え 3 活火山や温泉地が多い地形的な背景を活かし、天候に左右されず安定した電力供給が可能であるという性質を持つ。	九州地方には阿蘇山などの活火山が多く、地下の熱源を確保しやすいという地理的条件が揃っています。地熱発電は、太陽光や風力といった他の再生可能エネルギーとは異なり、昼夜や天候を問わず一定の発電量を維持できる「ベースロード電源」としての役割が期待されています。
問11	答え 2 ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流	低緯度（南の方）から流れてくる黒潮（日本海流）は、暖められた海水を運ぶ暖流です。この黒潮から枝分かれして日本海側へ流れ込む対馬海流も同じく暖流であり、これら2つの海流が九州を取り囲むように流れることで、冬でも沿岸部の気温が下がりにくくなります。一方、親潮やリマン海流は北から流れてくる寒流であり、九州の気候への直接的な影響は黒潮や対馬海流に比べると小さくなります。